

都道府県名	広島県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	広島市立口田中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	7	7	7	1	22	43
生徒数	265	254	271	1	791	

研究の概要

1. 研究主題

「基礎・基本の確かな定着を図るための指導方法について」

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・全学年・全教科

本校は大規模校であり、比較的、生徒の状況が落ち着いているなか、教科などをしぼって研究を進めるのではなくて、教員全体の資質の向上を図るために、全学年・全教科での研究とした。

(2) 年次ごとの計画

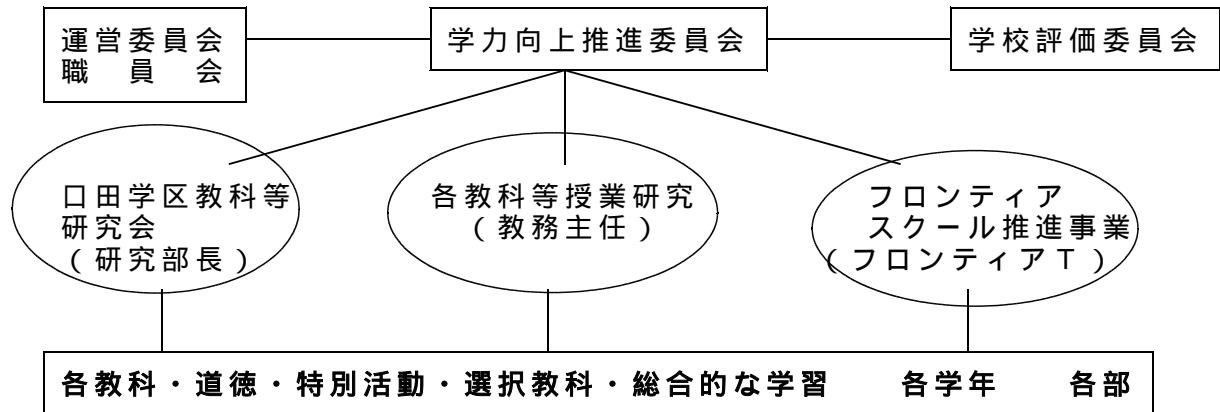
平成15年度	<p>テーマ 「基礎・基本の確かな定着を図るための指導方法について」</p> <p>研究の見通し 生徒が安心して学習できる環境(かかわり合える学習)をつくとともに、「関心・意欲・態度」が高まるような指導方法を工夫すれば、学習意欲が喚起され、基礎基本の確かな定着が図れるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科における基礎・基本についての明確化と観点別評価に視点をあてた年間指導計画の作成 個々の生徒の学習意欲を高めるための指導と評価の工夫 学習意欲に関する生徒の意識調査の作成及び実施・分析 研究の構想図の作成と、本校としての「関心・意欲・態度」の定義付け 確かな学力を身に付ける補充学習の実施 小・中学校の授業交流及び公開授業の計画・実施 1, 2年生における目標基準準拠検査の実施 グループエンカウンターによる生徒同士、生徒と教師の人間関係づくり 1年次におけるまとめ(成果と課題)
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 「基礎・基本の確かな定着を図るための指導方法について」</p> <p>研究の見通し 平成15年度に同じ</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科の研究推進計画の見直しを含む課題の再確認 「関心・意欲・態度」を高める自己評価シートの工夫 公開授業・研究発表会の実施 単元毎の学習指導案やワークシートの工夫 「関心・意欲・態度」の評価方法の工夫
--------	--

- ・全学年における目標基準準拠検査の実施
- ・学習意欲と人間関係に関する生徒の意識調査の作成及び実施、考察
- ・各教科の指導方法・評価の在り方の整理（まとめ）

(3) 研究推進体制

学力向上推進委員会を全体の取りまとめとして、以下3つの推進事業を展開する。
 口田中学校区基礎学力向上推進事業（以下、口田学区教科等研究会）
 各教科等授業研究事業（本校における各教科等の研究）
 フロントアスクール推進事業



学力向上委員会は、生徒の3か年間において“つける学力”について、指導法や実践の仕方、研修、検証の方法などを協議し、学力向上に向けての推進を行う。なお、本委員会の委員長には、フロントアティーチャーがあたり、委員長の他、教務主任、研究部長、進路指導主事、数学科主任で構成される。

平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1 研究の成果

社会的な思考・判断
 社会的な事象への関心・意欲・態度
 社会的な事象についての知識・理解
 資料活用の技能・表現

資料1 (社会)科 年間指導計画 (3)年生用

章節	学習内容	時数	学習のねらい	基礎基本(身に付けさせたい力)	評価の対象
第4章 わたしたちの生活と経済	ハンバーガーショップの経営になってみよう	55	身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させる。また、現代の生産のしくみのあらましについて理解させるとともに、社会における企業の役割と社会的責任について考えさせる。	章の導入として、シミュレーションゲームをすることにより、学習意欲を高め、経済への興味・関心をもつことができる。	ワークシート
	消費と貯蓄	56		社会における企業の役割と社会的責任について考えるとともに、個人や企業の経済活動のあり方を、さまざまな立場から公正に判断することができる。	観察・発表
	消費者の権利と保護	57		個人と企業の経済活動に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに追求し考察した過程や結果をまとめたり説明することができる。	収集資料
	流通のしくみ	58		経済活動の意義、生産、流通、消費のしくみのあらましを理解し、その知識を身に付けることができる。	
	生産のしくみ	59			
市場経済と金融	市場経済のしくみ	60	価格のはたらきに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、銀行の仕事について考えさせ、金融のはたらきについて理解させる。さらに、雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務と関連づけて考えさせる。	デビットカードやクレジットカード、プリペイドカードなどいろいろなカードを思い浮かべ、カード社会に対し興味・関心をもつことができる。	観察・発表
	市場と価格	61		社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、自分のこととして考えることができる。	論述式小テスト
	金融のはたらき	62		「商品の価格がどのようにして決まるのか」について調べ、その違いをまとめて、説明できる。	ワークシート
	金融のはたらき	63		市場経済の基本的な考え方や金融のはたらきについて理解し、その知識を身に付けることができる。	
	働く人たちの生活向上	64			
期末テスト		65			期末テスト
国民生活と福祉経済	政府の仕事と租税	66	国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について考えさせる。その際、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実について理解させる。	国民生活に財政が大きく関わっていることに気づき、その役割を意欲的に調べ、税金の使われ方が公正であるかどうかに関心をもつことができる。	ノート
	財政のはたらき	67		国や地方公共団体が果たしている経済的な役割や財政について考えるとともに、国や地方公共団体の経済活動のあり方についてさまざまな立場から公正に判断することができる。	観察・発表
	社会保障と国民の福祉	68		消費税に関するさまざまな資料を収集し、他国と比べて我が国の消費税はどうかについてまとめ、説明することができる。	ワークシート
	公害の防止と環境保全	69		社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実について理解し、その知識を身に付けることができる。	
	日本経済の発展	70			

資料1は3年生の社会科の年間指導計画の一部である。このように全教科において、単元(領域・題材)ごとに各教科の基礎・基本について明確化するとともに、観点別評価に視点をあてた年間指導計画を作成することができた。

各教科ごとに、ワークシートを作成したり、教材教具を開発したり、個々の生徒の学習意欲を高めるための工夫に取り組んできた。

資料2は本校で独自に作成し、実施した「学習に関する意識調査」の一部である。このように「関心・意欲・態度」に焦点を当てて、生徒の意識や実態を把握することができた。

なお、この意識調査は他に「自分から進んでいろいろな問題を解こうと思いますか。」「難しい問題でもあきらめないで解こうと思いますか。」「出された宿題はきちんとやっというと思いますか。」「宿題以外の勉強もすすんでやろうと思いますか。」「宿題以外の勉強もすすんでやろうと思いますか。」などの情意面を問う質問事項と、それぞれについて資料2の2-2のような行動面を問う質問事項などから構成している。生徒の課題を探るとともに、我々の今後の指導の方向性を探る資料としたい。

資料3と資料4は上記の意識調査の結果からの抜粋である。資料3を見ると「授業で、次に何を勉強するのが楽しみに思いますか。」という質問に対して、肯定的な意見は45%にしか達していない。このことから、単元(授業)の終わりに授業評価や予告(内容、めあて)を生徒にしっかり行い期待をもたせることと、ねらいを明らかにした授業を毎時間展開する必要がある。また、資料4を見ると、宿題はきちんとやろうとしているが、それ以外の勉強をすすんでしようとは思わない本校生徒の実態が浮かび上がってきた。そこで、宿題以外の勉強をすすんでやろうとは思わない生徒(62%)を対象にその理由を尋ねると、55%の生徒が「何をやっていいのかわからない」と答えており、このことから各教科ごとに家庭での自主学習、予習・復習の仕方を具体的に示すとともに、家庭学習をしっかり評価してやる必要があると考える。

資料2

学習に関するアンケート

このアンケートは、みなさんの日頃の学習や授業への取り組みの様子を知るためのもので、この結果を今後の授業などに生かしていきます。安心して、自分のありのままの思いを答えて下さい。

途中で分からないことがあったら、遠慮せずに先生に質問して下さい。なお、質問の回答はすべて回答欄に番号またはアルファベットで記入して下さい。その他を解答した人はその内容を簡潔に記入して下さい。

日頃の授業や家庭での学習に対する姿勢について質問します。

質問2-1 授業中、すすんで発表したり、質問しようと思いませんか。

1よくあてはまる 2ややあてはまる 3あまりあてはまらない 4まったくあてはまらない

「3」、「4」と答えた人だけに質問します。

発表したり、質問しようと思わないのはなぜですか。

aはずかしいから b分からないから c面倒だから d簡単すぎるから eその他

その他の内容を簡潔に記入して下さい。

質問2-2 授業中、すすんで発表したり、質問していますか。

1よくあてはまる 2ややあてはまる 3あまりあてはまらない 4まったくあてはまらない

「3」、「4」と答えた人だけに質問します。

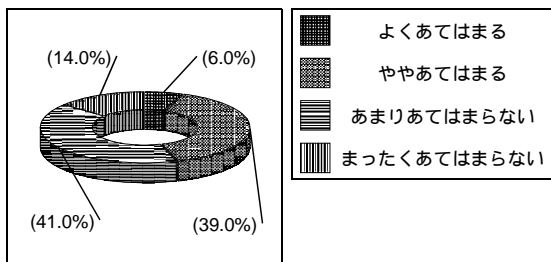
発表したり、質問しないのはなぜですか。

aはずかしいから b分からないから c面倒だから d簡単すぎるから eその他

その他の内容を簡潔に記入して下さい。

資料3

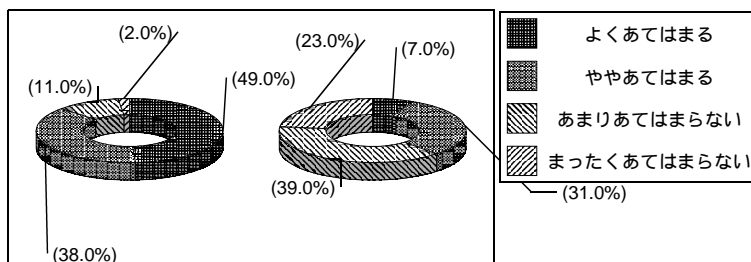
授業で、次に何を勉強するのが楽しみに思いますか。



資料4

左側～出された宿題はきちんとやっというと思いますか。

右側～宿題以外の勉強もすすんでやろうと思いますか。



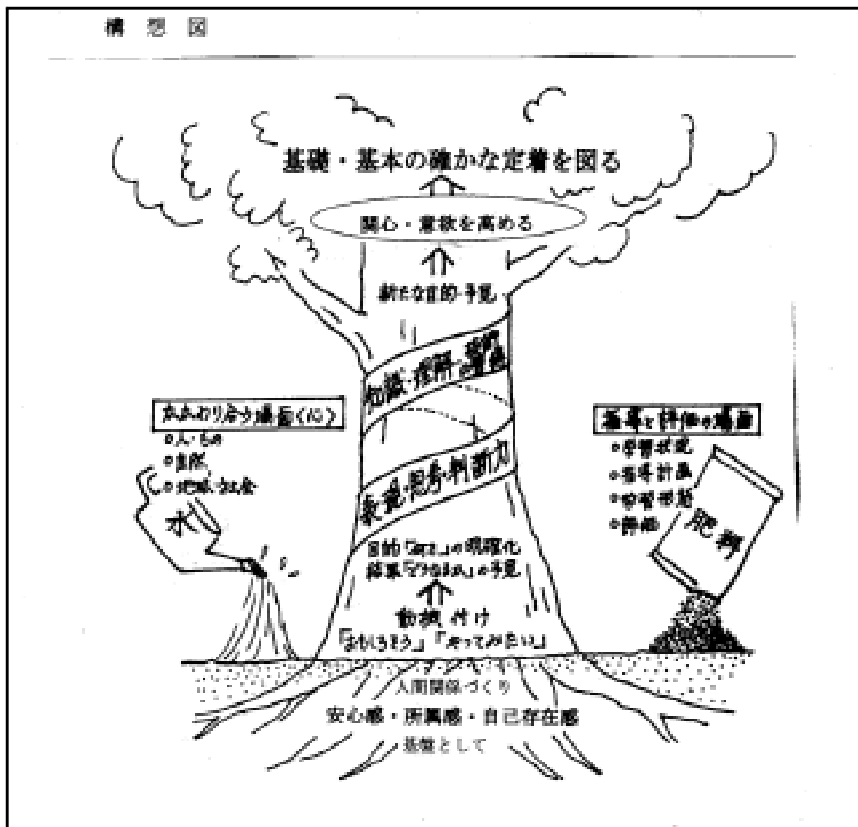
資料5は本研究の構想図である。生徒が安心して学習できる環境をつくるとともに学習への関心意欲が高まるような指導と評価の工夫を行い、表現力、判断力、知識・理解、技術を習得させれば、さらに生徒の学習意欲が喚起され、基礎・基本の確かな定着を図ることができる、という研究の見通しに立った構想図を作成することができた。

確かな学力を身に付けるために口田中学学習塾や暮会延長学習などの補充学習を実施した。

(ア) 口田中学学習塾について
夏休みの午前中、五教科を担当する先生の都合のつく日に学力補充を実施した。昨年度までは3年生のみが行っていたが、今年度より全学年で実施した。各学年の参加延べ人数は、1年 127/263名、2年 33/252名、3年 74/271名であった。3年生の参加人数は昨年と比較すると大幅に増加した。参加者に対するアンケートには、「もう少し時間を延ばしてほしい」「夏休み以外でもやって欲しい」など意欲的な声が多かった。

(イ) 暮会延長学習について
定期テスト1週間前より、暮会を20分延長して、各学級でプリント学習を実施した。全校生徒のうち、大変、意欲的に取り組めたと答えた生徒が30%を、だいたい意欲的に取り組めたと答えた生徒が48%を占めた。そのアンケートの中から、「わからない所があれば、友達が教えてくれる」など、班内の協力体制が整ってきていることを感じ取ることができた。また、「問題数を増やして欲しい」「もう少し難しい問題を出して欲しい」などの要求も出てきており、積極的に学習に取り組む姿勢も出てきた。

資料5



「わからない所があれば、友達が教えてくれる」など、班内の協力体制が整ってきていることを感じ取ることができた。また、「問題数を増やして欲しい」「もう少し難しい問題を出して欲しい」などの要求も出てきており、積極的に学習に取り組む姿勢も出てきた。

小中の連携について

(ア) 「口田中へ行こう」と題して、口田中学校校区の小学校6年生を対象に体験授業及び部活動の見学を2月19日に実施予定。右にある資料6は実施する各教科の学習内容であるが、これを基に希望をとり、9教科の授業の中の一つを体験してもらうプランである。

(イ) 口田小学校との算数科及び数学科の連携の中で、「中学校でどんなことを学習するのかを知ってもらうために、3学期に中学校から小学校へ出向いて出前授業をする。」「中学校での数学の学習をスムーズに行うため、小学校から中学校へ入学する際に宿題を課す。」「個々の学習の実態を把握するために、中学校で活用しているSP表を小学校でも利用し、データの収集に努める。」などのことを確認することができた。

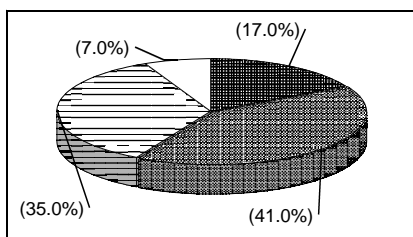
資料6

教科	学習内容
国語	想像力を働かせて、俳句の読み取りに挑戦しよう!
社会	これであなかもハンバーガーショップの店長だ! (世の中のお金や商品の流れ、商売のしくみを考えてみよう)
数学	未知との遭遇～初めて出会う負の数～
理科	だ液の働きについて調べよう
音楽	「歌って、そして考えてみよう。音楽のしくみ!」
美術	「筆記用具を使ったデザイン」
体育	基礎体力向上ゲーム・集団ゲーム
技術	コンピュータによるアニメーションづくり
家庭	あまり布を使った小物づくり(ミシンを使います)
英語	英語で遊ぼう!

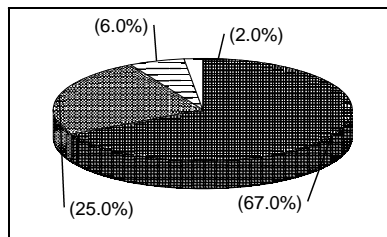
グループエンカウンターによる生徒同士、生徒と教師の人間関係づくりについて

(ア) 1年生において「生活と学習に対する意識・実態調査」を実施し、人間関係に関

E あなたをよくわかってくれる先生がいる



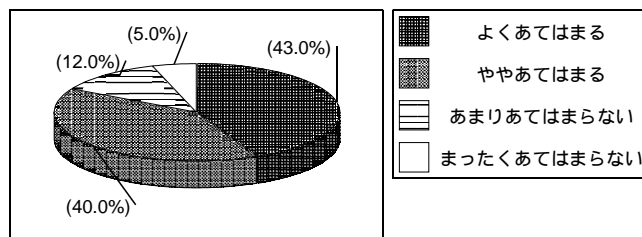
F あなたをよくわかってくれる友達がいる



する項目を抜粋し、分析を試みた。Eの質問に対して肯定的に答えた生徒が60%程度はいるものの「よくあてはまる」と答えた生徒は17%しかおらず、より一層、生徒理解に努め信頼関係をつくっていく必要性を感じる。また、FとGの質問からは「自分のことをわかってくれる友達がいる」と感じている生徒の数が90%を超えているが、その友達を、悩んでいることや困っていることを相談できる存在だとは感じていない生徒も多いということが読み取れる。

(イ)学活の授業において、各学年ともグループエンカウンターの技法を取り入れて、人間関係づくりに努めている。右の資料7は1学年の年間計画である。8/4(月)には講師を招いて「中学校におけるグループエンカウンターの活用」についての研修を実施した。

G悩んだり困ったりしたときに、相談できる人がいる



資料7

エンカウンター計画(1学年)

回	時期	ねらい	意義	実施エクササイズ
1	4月	他者理解	教師のことを知り、身近な存在とを感じる。クラスやクラスの友だちに対して親近感をもたせ、友だちづくりへの意欲を高める	・先生ってこんな人ですよしく！ ・会話がひろがる 「自己紹介ビンゴ」
2	5月	自己主張	個人の決定から全員の合意によるグループ決定を通して、グループが意思決定していくときに生じる様々なことに気づく。	・月世界
3	6月	自己理解 (性学習)	生命誕生に関わってきた家族の気持ちを思いやり、同時に自分は多くの人に支えられてこれまで成長してきたということに体験的に気づかせる。	・生命誕生
4	9月	他者理解	体育祭での様々な活躍や活動ぶりを互いに認め、励ましあい、クラスの連帯感を強める。 体育祭が終了した後、勝敗に関係なく人のために活躍したり、貢献した生徒が、他の生徒の支持で自己有用感を得る。	・君はどこかでヒーロー
5	10月	自己主張	自分の気持ちを素直に、かつ相手にわかってもらえるように自己表現・自己主張するためのスキルを高める。	・役者になろう
6	11月	自己理解 他者理解	毎日の学校生活を送る自分たちの学級をお互いにとって気持ちよく生活できる場にするために、自分自身が、そしてみんなが具体的に何ができるのかを考え、行動しようとする機会とする。	・思いやりのある学級とは？
7	12月	自己理解 他者理解	級友の努力した点や長所を探し、伝える事で、互いに理解して、親しみをもつ。 級友に教えられた自分の長所等に気づき、自己肯定感をたかめることに役立つ	・自分のよさを大切にしよう
8	1月	自己主張	いやなことを「いや」と言えない生徒と、その気持ちがわからない生徒をむすびづけ、理解することに役立つ	・こんなときわたしはこう いう
9	2月	自己理解	言葉の選択・比較を通して学級内でのリレーションを深める。肯定的な言葉の支持により自尊心を高め和やかな人間関係をつくる	・気になる自画像

2. 今後の課題

学力向上推進委員だけが推進するのではなく、全教員が、以下のようなプロジェクトのいずれかに所属する(検討中)。そして、それぞれの立場から生徒の学習意欲を高めていく。

- ・指導案の様式を検討し、授業づくりについて考察するプロジェクト
- ・自己評価シートの様式や利用の仕方について検討するプロジェクト
- ・授業で活用できる教材・教具について検討するプロジェクト
- ・生徒の実態把握や研究の検証のためのアンケートを作成するプロジェクト
- ・効果的な発問のしかたについて研修をするプロジェクト

学力把握のための学校としての取組

広島県の「基礎・基本定着状況調査」のうち、「生活と学習に対する意識・実態調査」を今年度も本校では1, 2年生を対象に実施したが、来年度以降も同様に実施し、生徒の現状把握に努めたい。

学習意欲に関する生徒の意識調査を実施し、本校の取り組みの課題を考察する資料としたい。

1, 2年生を対象に今年の1月に目標基準準拠検査を実施したが、来年度はもう少し早い時期に実施し、確かな学力が定着しているかどうかについての実態把握をするとともに、個々の生徒の指導に生かしていきたい。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成16年3月には研究の中間報告の冊子を作成する。

フロンティア校として、作成した教材や学習指導案をホームページに掲載したり、冊子にまとめ、積極的に情報発信に努める。

公開授業に対して積極的に取り組み、保護者や地域に研究の成果を発信し、評価をしてもらう。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 ▪ 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 ▪ 16学級以上
- 【指導体制】 ▪ 少人数指導 ▪ T・Tによる指導
 ▪ その他
- 【研究教科】 ▪ 国語 ▪ 社会 ▪ 数学 ▪ 理科
 ▪ 外国語 ▪ 音楽 ▪ 美術 ▪ 技術・家庭
 ▪ 保健体育 ▪ その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 ▪ 有 無